

## 「自分の命は自らが守る」の意識で避難行動を

### ■警戒レベル別の避難行動を確認してください

市は、気象庁の防災情報を基に、「洪水」や「土砂災害」などの災害が発生する恐れがあると判断した場合、避難情報を発令します。

警戒レベル別の市民の皆さんがとるべき行動などは下図のとおりです。警戒レベル3または4で必ず避難してください。

台風などの進行型の災害は、その進路や勢力等が事前に分かることから、市は、市民の皆さんに対し、早めに避難指示などを発令して災害に備えていただきます。

### ■避難指示がなくても適切な避難を

突発的かつ局地的に発生する短時間強雨(ゲリラ豪雨)に関して、発生する範囲と雨量を高い精度で予測することは、現在の技術ではできません。

また、夜間など、かえって避難することが危険であると判断した時は、避難指示の発令をしません。

このことから、避難をしなければと気づいた時には、既に避難遅れとなっている場合があります。

自宅2階への垂直避難や自宅裏に斜面がある場合は、なるべく斜面から離れた部屋に避難するなどの避難行動をお願いします。

### 渋川市の警戒レベルと住民がとるべき行動、防災気象情報

警戒レベル	市から発令される避難情報(警戒レベル)	住民がとるべき行動	防災気象情報(警戒レベル相当情報)
1	—	災害への心構えを高める	早期注意情報(警報級の可能性)
2	—	ハザードマップなどにより、災害が想定されている区域や避難先、避難経路を確認する	大雨・洪水注意報
3	自主避難(高齢者など避難)	災害が想定されている区域で避難に時間を要する高齢者などや危険を感じた人は、自主的に避難する	大雨警報(土砂災害)警戒レベル3相当
4	避難指示	危険な場所から全員が避難する	土砂災害警戒情報警戒レベル4相当
5	緊急安全確保	何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い状況であり、命の危険が迫っているため直ちに身の安全を確保する	大雨特別警報(土砂災害)警戒レベル5相当

警戒レベル3または4で必ず避難しましょう

※気象庁などから出る河川水位や雨の情報を参考に、自主的に早めの避難をしましょう



市から警戒レベル3自主避難(高齢者など避難)が発令された場合、その対象となった地域の公民館が「自主避難所」として開放されます。これまで自主避難所に避難する際には、食料や毛布などを自宅から持参してもらおうように依頼してきました。これについて、市民の積極的な避難を促すため、避難所の環境改善を検討し、自主避難所となる地域の公民館に乾パンなどの非常食や毛布を配備することとしました。災害が発生する恐れがある場合や自宅に留まることに不安を感じる時は、地元の公民館への積極的な避難をお願いします。

自主避難所の環境を改善しました

# 9月1日は防災の日



## 自分の命を守るのは、まず自分で 命を守るための行動について確認を

### 短時間強雨(ゲリラ豪雨)に注意を

近年、地球温暖化の影響で、夏の強烈な日差しで暖められた空気が上昇して積乱雲となり、ごく限られた範囲に極めて大量の雨が降る短時間強雨(ゲリラ豪雨)や、積乱雲が列をなすように発生し、数時間にわたり同じ場所に強い雨を降らせる線状降水帯の被害が、全国各地で相次いでいます。県内においても7月31日に1時間当たり雨量120mmが観測された地域があり、群馬県に記録的短時間大雨情報が気象庁から発表されました。ゲリラ豪雨などの発生時は、河川の水かさが一気に増すなど状況が変化するため、迅速な避難行動が必要となります。

9月1日は、1923(大正12)年に関東大震災が発生した日であり、台風シーズンを迎えることから「防災の日」とされています。自然災害から自分の命と大切な人を守るために、災害時の情報収集手段や避難行動について再確認しましょう。詳しくは、**困危機管理室(☎2130)**へ。

正しい情報入手しましょう

災害時には、正しい情報に基づいて行動することが大切です。市は、災害が発生した場合や発生する恐れがある場合に、市民の皆さんに避難情報などを防災行政無線でお知らせします。防災行政無線が開き取れなかった場合には、放送の内容を電話(0800(800)7373)で確認することができます。また、防災行政無線のほか、携帯電話に災害情報を配信する「渋川ほっとマップメール」、「市公式ツイッター」、「市公式LINE」などでも情報発信します。

### 災害時の情報収集はこちらの2次元コードから

